



全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

<http://www.shijuku.net>

第12号（平成17年11月号）



赤尾花 天に駆けたる 芒かな

私塾ネット 副理事長 梶原 賢治



塾の日記念式典 盛大に実施される 任意団体のパワーを結束

2005年10月2日、秋の晴天に恵まれた東京の新名所江東区お台場に、全国から学習塾の仲間が集結しました。社団法人全国学習塾協会主催の「塾の日フェスティバル in Tokyo 2005」がお台場の東京ビッグサイトを会場に開催されました。私塾ネットではこれを協賛し、記念式典では谷村理事長が、親睦交流会では石川副理事長が進行役を務めるなど、応援参加の私塾ネット会員十余名とともにフェスティバルをおおいに盛り上げました。

特別な一日の特別な瞬間

第1部・塾の日記念式典は10分遅れの午後1時10分に開会しました。挨拶にたった石井協会会長は、今回のフェスティバルが学習塾諸団体が結集する形で実行できたことを喜び、記念すべき出来事と位置づけました。そして、学力・学習意欲低下が懸念される中、学習塾業界に対する社会の期待要望は増大し、学習塾の日本社会、日本の教育に関わる責任は益々重くなって来つつあるとし、協会は過去17年間の経験を生かし、学習塾全体の発展に十分貢献できる力を持つ、名実ともに業界の代表としての協会を目指すと宣言しました。



田中先生自作のハイテク紙飛行機の発進で開会を演出

来賓祝辞のあとのプログラム進行の前に、教育ボランティアの会理事長、田中敏勝氏自作のハイテク紙飛行機発進の開会イベントが実施されました。飛行機の発進は、田中氏の指導の下、来賓と読書作文表彰の対象児童の手によって実行され、約30機の紙飛行機が会場を飛び交いました。

続く自主基準遵守塾表彰では協会法規・自主基準委員会委員長入江昌徳氏（エリア北海道代表）がサービス評価制度やプライバシーマーク取得塾の優秀塾12社を表彰しました。受賞者代表として徳島県楠山セミナーの楠山敬志氏（協会副理事長・エリア四国会員）に賞状を授与しました。

式次第		主催：全国学習塾協会
第1部 塾の日記念式典	司会	谷村志厚
開会の辞	副会長	伊藤政倫
会長挨拶	会長	石井正純
来賓祝辞	経済産業省	山本勝紀氏
	東京中高協会	實吉幹夫氏
	全国学習塾協同組合	森貞孝氏
	かながわ民間教育協会	石川雅章氏
	永年勤続職員・優秀塾生表彰	
	自主基準遵守塾表彰	
	読書作文コンクール表彰	
	祝電披露 専務理事	稲葉秀雄
閉会の辞	副会長	碓 優
第2部 基調講演&提言発表	司会	菅原明之
基調講演	東京大学大学院教授	矢野眞和氏
	「塾と学校の新しい関係」	
基調講演	協会常任理事	筒井勝美氏
	「学力低下と学習塾のはたす役割」	
提言発表	参加各団体	
第3部 親睦交流会	司会	石川如雪
会長挨拶		石井正純
来賓祝辞	文科省大臣政務官	下村博文氏
乾杯	顧問	安藤進理
謝辞	実行委員長	岡田保雄
閉会の辞	関東支部長	川畑卓也

読書作文コンクール優秀者表彰では、石黒明運営委員長が選考経緯を報告し、入賞者を発表しました。当日出席者の中学生の部大賞岡本彩さん（福岡県）をはじめ4名の生徒さんに、石井会長から表彰状と記念品が贈られました。

第1部記念式典の最後は、新任の副理事長碓優氏（私塾ネットセンター顧問）の挨拶によって無事幕をおろしました。式典の途中、松原仁衆議院議員や小野清子参議院議員の飛び入りのご挨拶も入りましたが、定刻通り午後4時30分第1部を終了しました。



読書作文コンクール表彰、石井会長と受賞者とご家族

教育と塾の未来はどうなっていくのか？

第2部は司会を菅原明之氏（塾全協東日本ブロック理事長）が担当し、2つの基調講演と参加団体代表の学習塾提言が行われました。

基調講演は東大の矢野眞和教授の「塾と学校の新しい関係」と題する40分の講演でした。いささか時代錯誤で偏屈な学習塾感を披瀝され、反発をする塾人も多かったようでした。質疑応答の場面では少々気まずい雰囲気が出るなど、後味の悪い講演となっていました。

基調講演では協会常任理事の筒井勝美先生の学力低下に関する発表でした。生徒数1万5千名をよとする自塾の豊富なデータと27年間の研究から、理数教育の衰退ぶりを明確に指摘し、ゆとり教育を象徴とするこれまでの文科省主導の教育施策をバツサリと斬り捨てました。すでに学力低下論争は結論をみてるわけで、いささか句をすぎた感はぬぐえませんが、筒井先生の分厚い理論武装の前には反論の余地のないところです。理数ばかりではなく、総合的な学力の低下に、塾は今後どう対応していくのか。そんな視点にそった議論が待たれます。

終わりの宴は、出会いの始まり

第3部親睦交流会は石川私塾ネット副理事長の司会で始まりまして。会場はビッグサイト最上階のイタリアレストランです。都心の夕暮れを背景に、塾、私学、企業の100名を超える皆さんの親睦交流会です。始まりはまず恒例の下村代議士の祝辞から。先の総選挙で圧勝をされた余裕か、終始和やかなご様子で、塾業界にとってはとても頼りになるご挨拶をいただきました。



乾杯のご挨拶をする安藤顧問と司会役の石川さん

乾杯の大役は私塾ネット顧問でもある安藤進理先生。協会創立以前からの関わりを熱く語られ、万感のこもる乾杯となりました。

都心に沈む夕焼け、やがて訪れてくる夜のしじまと都会の闇。いよいよ宴も高まって、本年度の岡田実行委員長から来年の楠山実行委員長へ引継ぎが行われました。来年は四国徳島が会場となることが内定しました。四国といえば、私塾ネットの活発な活動が実践されている地です。私塾ネットの総力をあげて楠山委員長を支えていこうと、会員の皆さんと約束をし、この日の宴を終えました。（文責：谷村）



岡田実行委員長から楠山さんへ実行委員長の大役が引継がれる



私塾ネットセンター
谷村理事長

パソコン教育推進
協会 礎理事長

提言を行う三氏



NPO全国教育
ボランティアの会
田中理事長

学習塾関連10団体が教育提言

続いて参加団体から一人3分の時間制限で、学習塾提言が行われました。発言団体は全国学習塾協同組合、東京都私塾協同組合、社団法人かながわ民間教育連盟、NPO塾全協、NPO全国教育ボランティアの会、千葉学習塾協同組合、塾教育研究会、民間教育政治連盟、パソコン教育推進協会そして私塾ネットの各団体でした。

尚、私塾ネットでは谷村理事長のが発言しました。

東京・千葉進学相談会

第26回私立中高進学相談会報告



渉外部次長 加藤 実

平成17年9月19日午前11時より午後3時まで、新宿NSビル地下イベントホールにて、NPO法人塾全協主催による「第26回私立中高進学相談会」が開催された。後援は東京私立中学高等学校協会・社団法人全国学習塾協会、協賛は全国学習塾協同組合・東京私塾協同組合・NPO法人全国教育ボランティアの会・私塾協議会・民間教育連盟・私塾ネット、協力は学研・株式会社パリス・教育情報・声の教育社・進学教育社・進学研究会・新教育研究協会・ベネッセコーポレーション・森上教育研究所、特別協賛YTnet。

参加校は132校。富山から参加の片山学園が目をつけた。朝8時半集合で例によって、宅急便の荷物を各学校のテーブルまで持って行くのであるが、これがなかなか大変。なにしろ鉛筆しか持ったことのない虚弱体質ゆえ、重たい荷物は苦手なのだ。1回ギックリ腰をやっているの要注意なのだ。今年は荷物に番号が書いてあったのはいいが、学校名のところに番号がなく、結局学校名を見て配るしかなかった。来年はなんとかして欲しい。それでも番号で大体の位置がわかるので、去年よりは能率よく配布できた。

私は「入試なんでも相談コーナー」の係。中学受験で偏差値55前後の聖心女子学院を受験したいが滑り止めはどこがいいかって。54の山脇は滑り止めとはいかない。46の女子聖学院なら滑り止めになるがそこまでは落としたい。実践の2回目は？とにかく合格しなければ話にならないのだから確実

に入れそうところを受験すること。偏差値1、2でも実力的には違うがしかし、その程度の差では「合格保証」は出来ない。52の香蘭は？好き嫌いがあるのでなかなか難しい。

高校入試で西高が本命。その押さえはどこがいいか？日大二高？滑り止めにはとてもならない。淑徳巣鴨の特選文理？それなら問題ないのでは？とにかく実力を高めて合格を確実なものにしていかないと。えっ、何？数学が弱い？4割？それは駄目だ。内申はオール5ない？厳しいですね。まあ、そんなやり取りがありました。楽しいひと時でありました。

入試準備で毎日5時間も勉強してどうなるの？中学入試で合格したとして、それから毎日6時間勉強する？高校では7時間？それは無理でしょ。たかが中学入試でそんなに勉強しなければ合格できないんだったら、それはその学校は合っていないとあきらめなさいと。ある私立中の先生が「うちの1年生は受験のための無理な勉強がたたってボロボロな子が多いんです。ですから1学期はゆっくり、のんびりやっています」ですって。無理な勉強をしなければ解けないような問題を出しているのは貴校でしょ？それなのにボロボロになった責任を塾に押し付けるのはいかがなものですか？



今年はちょっと動員が減ったようです。少子化ですから致し方ないところもありますが、協会の方は？この動員の違いは何でしょう？研究課題ですね。



私は「入試なんでも相談コーナー」の係。中学受験で偏差値55前後の聖心女子学院を受験したいが滑り止めはどこがいいかって。54の山脇は滑り止めとはいかない。46の女子聖学院なら滑り止めになるがそこまでは落としたい。実践の2回目は？とにかく合格しなければ話にならないのだから確実

スクールフェア2006を終えて
千葉学習塾協同組合理事 田中宏道



千葉の組合が主催するスクールフェア（中高等学校相談会・私塾ネット協賛）を、9月18日（日）船橋のホテルサンガーデンららぽーとにて開催しました。参加学校数76校、中高別132校、82ブースでの相談会です。

私自身は5年前に担当して以来の復帰です。この4年間、担当をはずれ、じっくり眺めさせていただき、また「スクールフェアはJACのお祭りである。」という啓示をいただいて、スクールフェアに再び臨ませていただいた次第です。

テーマは「待ち遠しくてわくわくするスクールフェア」

ご来場いただいた方や相談会に参加して下さる学校様、そしてわれわれJACメンバーも「楽しい!」と思えるフェアにしたいと、委員のみなさまの大いなる知恵をお借りして、下記のようなさまざまなイベントに取り組むこととなりました。

- 開会を飾る聖徳大附属中高のディズニーメドレーマーチングパレード
- 同校の打楽器アンサンブル
- 日出学園中の世界2位エレクトーン奏者によるびっくりを超えるエレクトーン
- 東京学館総合技術高・服飾デザイン科によるドレスづくり
- 京葉工業高校による機械や道具のプレゼン

テーション
公立高校、特色化選抜入試に関する詳細情報説明会
1等賞はディズニーランドペアチケットの大抽選会。当選発表は「合格発表」として掲示し、全員合格というおめでた付き。

これらのイベントは、あくまでこのフェアの本来の目的である下記の項目を実現するための手法です。

- < スクールフェアの目的 >
- 生徒と学校との素敵な出会い
- 子どもや親に喜ばれる学校創り
- JAC加盟塾の喜びづくり

このフェアは、JAC加盟塾が生徒たちに、どこの学校の説明を聞けばよいか入念に事前指導をしており、以前から滞留時間が長く、学校の先生方から「本当に受験してくれる生徒が来てくれる真の相談会だ。」と定評を受けておりました。それに増してイベント効果が出たのでしょうか。開会前より長蛇の列。そして来場者の滞留時間がさらに伸びたフェアとなり、各ブースは大盛況。

今後ともスタッフを含む全ての参加者に喜ばれるフェアを目指して、スクールフェアを運営していきたいと考えております。

また、諸事情でチラシを配布できずに、動員を相当心配したのですが、当日開場してみれば、入場者がジャスト1800名。スタッフ・学校関係参加者が416名。総数で2216名という史上最大のフェアとなりました。

1800名の入場者のうちJAC関係の入場者が1556名です。実に86%はJACのみの動員。皆さま、本当にありがとうございます。



私塾ネット中国 河浜先生投稿記事

吉田松陰の教育・松下村塾で展開された塾教育の原点



私塾ネット中国 河浜一也
 学習塾のルーツを探るとき、そのルーツを江戸時代の庶民に対して読み書きを教えた寺子屋や優駿を集めて多くの有為の青年を輩出した私塾に求めることができる。そして、その私塾や寺子屋は独自の教育課程・

方法を持ち、自由に教育を展開していた。その自由な教育こそが塾の命であることはいままでのない。

その私塾の中でも、とくに燦然と輝きを放つ巨星こそが、吉田松陰の松下村塾である。

もともと、松下村塾が松陰の叔父にあたる玉木文之進が私宅に開いた塾であったことはあまり有名ではない。吉田松陰本人も開校と同時に入塾している。13歳だった。その後外戚にあたる久保五郎左衛門がひきついでいた。松陰はいわば三代目の塾長であった。

もちろん、松陰は当時から有名であり、最新の知識を身に備えた英才として長州藩内にその名がとどるきわたっていた。しかし、松下村塾そのものは有名ではあったが、当時は全国に名を知られた私塾とまでは言えなかった。塾生ももちろん藩内のものばかりである。このあたりは、当時からすでに全国区の名声をはせ、広く塾生を集めていた適塾あたりとは違った部分である。その松下村塾がどうしてこれほどまでに有名な私塾となったのか、それは、松下村塾に学び、その後時代の表舞台に躍り出た維新の英傑たち（無念を池田屋に残した吉田稔麿、禁門に倒れた久坂玄瑞、入江九一、寺嶋忠三郎、奇兵隊の高杉晋作らは維新を待たずに逝った。維新を成し遂げた桂小五郎や成し遂げた維新に反旗を翻した前原一誠、明治を支えた蒼々たるメンバー・伊藤博文・山県有朋・品川弥二郎・野村靖・山田顕義ら）が、自らの原点として語り伝えたからに他ならない。

では、その松下村塾ではどのような教育がなされていたのだろうか。私塾の経営者としては誰もが気になるところである。

わたしは、彼の教育の一番目の特長は、彼の教育に対する熱情のようなものだと思っている。彼の教育に対する情熱は並々ならぬものであり、そしてそれが彼の語り口に熱となって現れていたのではないかということである。そのことは彼が投獄された野山獄での様子でもうかがい知ることができる。

松陰の教育は、専ら松下村塾でおこなわれたように思われているが、松下村塾での教育が始まる

前に、彼は別の場所で教育を展開している。まず、海外渡航を企てペリーに面会をしようとして失敗した下田での事件で投獄された野山獄でも、その後幽閉された実家「杉家」の幽閉室でも展開されている。野山獄は、士族のための獄だったが、そのとき投獄されていた11人の囚人は、いつ獄から出されるかもわからず、希望を失ってしまっていたという。しかし、その中に放り込まれた吉田松陰が、猛烈な勢いで読書する姿を見て驚き（彼は、投獄中の1年2ヶ月の間に600冊の本を読んでいる）、松陰に話しかけるようになる。さらに松陰からも話しかけられたり、意見を聞かれたりして、失っていた希望を取り戻していったという。松陰はこれらの囚人に書道を教えることからはじめ、つづいて俳句、そして最後には、難しい漢文をわかりやすく講義した。「孟子」の講義では、孟子の考えをもとに、人間の生き方をいろんな例を交えてわかりやすく説明し、しかも松陰自身の意見も、鋭く、情熱を持って伝えた。聞く側から見れば、わかりやすく、話を聞くたびに心洗われるような感じがしたという。野山獄では、その後役人や今で言う刑務所長までもが講義に参加している。もともと松陰の秀才ぶりは萩の町に知れ渡っていた（松陰が養子となった吉田家は、藩主に学問「兵法書」を教える家柄で、彼自身は8歳で見習い教授となり、10歳で藩主に講義をする榮譽を得ている。）とはいえ、やはり、よほどの熱がないと、なかなかそのようなことにはなるまい。

2番目の特長は、個別対応にある。

松下村塾にはあらゆる身分の生徒が集まってきた。海原徹氏の「明治維新と教育」（昭和47年刊）による在籍者一覧を分析すると、松下村塾在籍者の内訳は上級武士37名・下級武士13名・医師8名・町人4名・僧侶3名・不明6名・計72名ということになっている。また、松陰は、自らの門をたたくものに対して、「何を学びたいか」ということをよく尋ねたという。しかし、これだけのいろいろな生徒が集まれば、一人一人の学問の内容は、幅広く多岐にわたっていたに違いない。それぞれ個別に、一人一人にあった書物を選び、それを学ばせて個別に指導する一方で、孟子などを講義する彼の姿浮かんでくる。

3番目は、実践的な教育が行われた点である。

江戸時代の学問といえば、講義を聞き、書物を読むことと一般に考えられていた。これに対して松下村塾では、まず圧倒的な量の読書をさせているがそれだけではない。読書と同時に作文を大いに力を入れ、自分の考えや学んだ内容をまとめさせている。さらに講義が終わったあとや本を読ませたあとに討論をさせ学習を深めさせた。塾舎の増築には、材料選びから運搬、大工仕事、壁塗り

や屋根葺きまでを手伝わせ、その後は宿泊する塾生まで出ている。また、畑を耕したり、蚕や鶏を飼ったり、米をついたりと働くことを学習に取り入れている。さらに、剣道や水泳、遠足も行っている。しかも、遠足の際にはグループにわけ、力をあわせて登山させたりして、人間関係を深めるようにしている。『読んで、書いて、話し合っ、体を動かす』実践的な教育がこの時代になされていたのである。

ほかにもいろいろな特長を持つ松陰の教育であるが、そのどれをとっても、現代に通用するのはという想いに至る。ここ数年、塾教育では『個別対応』ということが盛んに言われた。注目されている作文能力の鍛錬やディベートに代表される討論など、まるで学校現場で今行われている学習を想起させる。さらに、経験主義に根ざした実践的な学習にしても、学校での総合学習や今私たちが力をいれている体験学習とリンクしている。時代をさかのぼり、私塾教育のルーツを垣間見れば、私塾教育や学校教育の今が見えてきた。これぞ、松陰先生のエールに違いないと、また明日から私塾教育に全霊をささげようと決意したしだいである。(この文章は、広島私塾連盟機関紙



松下村塾の前に立つ河浜先生



桂小五郎像の前の河浜先生



中国エリア研修会のお誘い

日時：2005年11月13日(日曜日)

受付開始14:00 開会14:30

場所：福山鞆の浦 ホテル颯風亭

対象：私塾ネット会員塾、友好塾の塾長、塾経営幹部

参加費用 一人当たり22,000円(全・宿泊費こみ)

第0部「研修会を盛り上げる」

開会の挨拶 ようこそ、福山へ、ようこそ私塾ネット中国へ

研修の心構え 研修は「学んで生かす」が一番
研修のねらいと伝習館の紹介 私塾ネット3校目の私学誕生!

第1部「新日本海時代を作る～湯梨浜学園設立の渦中で」

基調講演 湯梨浜学園の理念と実践(伝習館・坂根徹)

湯梨浜学園に対する期待

第2部リレー発表「塾の危機感をえぐる」

生き残りをかけた塾経営の問題点を斬る

- A 漢字検定日本一の塾、いくえい塾(岩石忠臣)
- B 次世代に伝える算数道40年、芸城学院(城忠道)
- C 塾の危機感を問う、田中学習会(田中弘樹)

第1部、2部研修の講評及び全体指導

第3部感謝の式典～鞆の浦の中心で感謝を叫ぶ!

当地福山出身の社団法人全国学習塾協会会長石井正純先生へ感謝の式典

一兵卒からの感状

記念品贈呈・エール

記念撮影

17:45終了

第4部懇親会 塾経営改革の夕べ

18:45 浴衣に着替えて全員大広間に集合完了

開会挨拶・乾杯

会食しながら情報の交換

私塾熱血男児の歌とエールの交換

私塾ネット中国研修会総合講評

記念撮影

20:45終了

第5部夜の研修会・討論座談会～今夜は帰さない!

21:00 よりいくつかの部屋で研修会。討論座談会を実施。私塾ネット中国が誇る自慢の若手論客が皆様といっしょに塾経営について熱く語ります。つ

まらない話になると**びしっ**と長老が斬りにきます。
 テーマ 塾経営、危機管理の実践
 塾運営、授業・診断・対話の実践
 その他時間一杯、 学習塾カラオケ大会・役立つ学習塾デジカメ研究会・
 お申し込み 栄光プレッ プ 北川 健治先生へ

民間からの提言 in 富山

(7月18日付、北日本新聞より)

私立学校や学習塾経営者らでつくる民間教育連盟のシンポジウム「民間からの提言 in 富山」が17日、富山市桜木町の富山第一ホテルであり、テレビなどで活躍する精神科医、和田秀樹さんらが教育の在り方について意見を述べた。

全国の学習塾経営者をはじめ、富山育英センターや片山学園中学校の生徒、保護者ら約六百人が参加。和田さんは「国際化した現代で求められる“頭の良さ”は、テストの成績だけでなく、問題解決能力や、豊富な知識を用いて推論ができることだ」と説明。「自分の思考や推論のパターンを正しく知り、自己修正する能力が必要だ」と話した。成績を伸ばすための学習法なども紹介した。「日本の教育システムのあるべき姿」と題したディスカッションなども行われた。

四 国 エ リ ア 報 告

私塾ネット四国 エリア代表 湯口兼司

10月以降の行事予定

10月30日(日) NPO全国教育ボランティアの会主催の 生きいきワクワク体験

『親子の集い in松山』が文部科学省、松山市教育委員会後援のもと行われます。

今回は進級スクールの松澤先生が実行委員長ですので私塾ネット四国の仲間と共に駆けつけようと考えています。

11月13日(日) 私塾ネット中国エリア主催の研修会に四国も秋の研修会として相乗りさせていただきます。いつもすばらしい企画で感動させられます。今回も我が四国エリアから30名を超える参加希望が出ています。皆さんに福山でお会いできるのを楽しみにしています。

《緊急報告》

社団法人全国学習塾協会副会長として活躍している私たちの仲間、楠山敬志先生から次のような報告と依頼がありました。

『さる10月2日(日)東京ビッグサイトにて「塾の日記念式典」が開催され、ほとんどの塾団体協力の下、大成功のうち無事終えることが出来ました。

当私塾ネットからは、我々が「谷やん」こと谷村理事長が第一部の司会をされ、みごとにいつもながらの流暢な弁舌で大役を全うされました。実は小生、来年の式典が徳島でということもあり当日朝からの実行委員会打ち合わせ及び最終チェックに参加させていただきました。実に入念な会議の打ち合わせ内容に生で接し、非常に勉強になりました。

さて、とうとう平成18年10月8日(日)全国学習塾協会の「塾の日記念式典」が初めて、四国徳島で開催されることが決定いたしました。場所はセンチュリープラザホテル徳島を予定しています。今から準備が大変ではありますが、皆様方の多数のご参加をお待ち申し上げております。ぜひ来年は全国の私塾ネットの皆様が四国に結集され、有意義な式典となるようご協力を心よりお願いいたします。

テーマや基調講演の内容を決める作業から始めねばなりません。教育の分野においても、政治や行政が三位一体の改革の後、大きく動く時代であるようにも考えられます。テーマについてもお知恵やご意見を是非ともお伺いできればと思います。東京での大成功の後を受け、初の四国での式典も、多くの塾団体や私立学校のご支援を頂かなければ成功はありません。この点重ねてお願い申し上げます。』

私たち私塾ネット四国エリアでも会員の先生方と相談の上、最大限の協力をするつもりです。

東 北 エ リ ア 報 告

私塾ネット東北代表 畑山 篤

青森県では平成5年から学習塾主導の全県を統一した「中3模試」を行って参りました。青森県の中学3年生の数もこの10年で約18千人から12千人まで減少してきましたが、この間ベネッセを編集会社に、地元教材会社を「青森県全県テスト実施協会」とし主催者に、我々模試参加の学習塾は後援組織である「青森県全県テスト連絡会」に強制加入という例えれば、メーカー・問屋・小売業団体の形で今年度まで「中3模試」を実施運営して参りました。ところが、今年4月の「個人情報保護法」施行により、受験生の個人情報を利用する主体が何処なのかという問題に直面致しました。昨年末より毎月のように会合を重ね解決策を探り、ようやく9月15日の会議で「青森県全県テスト実施協会」と「青森県全県テスト連絡会」を統一し「青森県全県テスト協会」という主催団体を作るという合意に達しました。「青森県全県テスト(中3模試)」には青森

県下150塾が参加していますが、会則や全体総会召集等々まだまだ山あり谷ありです。新組織では会長に私塾ネット東北のメンバーである渡部信雄塾長（青森市/学習塾尚志舎）が就任され、私が事務局長の大役を仰せつかりました。個人情報絡みでの成績優秀者一覧表の発行や少子化問題の流れの中での受験者数減少問題等々、地元公立志望者が中心で受験熱が冷め切っている地方の学習塾業界ではなかなかプラン通りには活動が進まない現状です。また、東北地方では社団法人全国学習塾協会と私塾ネット東北の会員が重複しており、さらにいわゆるテスト会である「青森県全県テスト協会」の設立という流れから、全国の諸先輩の皆様方にはそれぞれの会の独自性はある程度大目に見ていただき、学習塾業界としての東北地方の活動をご支援いただければ幸いと存じます。（これまで通り各団体の会費はそれぞれにお支払いいたしますので...）さて、その中でも来る11月下旬に私立高校対象の「教育懇談会」と国公立高校対象の「入試説明会」を開催する計画で準備を進めております。例年の流れの踏襲である部分と新しい試みの部分もございます。しかし、実行委員会もない未熟なイベントになりそうです。全国の皆様には「お知らせ」等が行き届かない場合はご容赦の程お願い申し上げます。私塾ネット

東北のエリア通信でした。

私学情報交換会開かれる

私塾ネット関東・桂馬ゼミナール 桂馬 辰尚

10月23日、池袋のカンポヘルスプラザ東京にて、4校の先生方にご出席頂き、私学情報交換会が開かれました。今回の出席者で説明を頂いたのは、國學院高校・山崎雅昭先生、日本工大付属中学・東京工業高校校長大森和夫先生、かえつ有明中学・高校教頭小坂橋弘治先生、東洋女子高校校長・村上精一先生（以上説明順）。体操選手として活躍された山崎先生のお話や、工業教育一筋の大森先生の熱の入った説明、又来年お台場で共学校としてスタートするかえつ教育を語る小坂橋先生。2年もの間、学校改革に手腕を振るってきた村上先生のお話など、どの先生からも学校の存亡のかかった生のお話を聞くことができました。なかなか学校説明会では聞くことのできない、本音で語る先生方の人となりを通して、学校の魅力が引き出されるのがこの会の良いところです。今回は昭和63年にAIM学習セミナーで2校の先生方をお招きして以来、23回目になります。今回、説明会だけで40人を超えるご出席を頂いたのは、今回が初めてではないかと思えます。感謝申し上げます。説明会終了後、恒例の懇親会がカンポはくちょうの間で開かれました。谷村理事長の開会の挨拶、安藤先生の乾杯で楽しい歓談の時がスタート。今回の懇談会は、私塾ネットの賛助会員の学校の先生方もお招きし、8校13名の先生方も加わり50名を超える盛大な会となりました。又、社団法人学習塾協会石井正純会長も大阪から駆けつけ、ご挨拶を頂きました。テーブルごとに私学の先生、私塾の先生の出身地紹介のスピーチで、同郷であることがわかり昔話を語ったり、学校の先輩・後輩がわかり、テーブルごとに同窓会が始まったり、実に楽しいひと時となりました。又、中閉めの挨拶に立った石川先生の万歳三唱で大いに盛り上がりました。近くの居酒屋で2次会、3次会が行われたのは言うまでもありません。ご出席の先生方、本当に

関東エリア進学情報交換会



私立中学・高校の進学情報を熱心に聞き入る会員の先生方 右 懇談に耽る当日ご出席の私立の先生方

今年なくなられた先生を回想して 追 悼 文

中村成美先生ご逝去

私塾ネットセンター監事の中村成美先生（中村学院 神奈川県横浜市）が平成17年9月23日ご逝去されました。享年59歳でした。ここに謹んで哀悼の意を表します。

お通夜9月25日（日）18時～19時、告別式9月26日（月）10時～11時、新横浜総合斎場にて執り行われました。



偲ぶ

私塾ネット顧問 安藤進理

中村成美先生、紅に映える彼岸花の中を、なんだってそんなに急いで永の旅路に立たれましたか？あまりに早すぎる。

私は先生のお父様（中村照満先生 昭和53年10月30日 享年62歳）を見送りました。そして今度成美先生を見送ることについて、言葉がつかまって出できません。

私が中村照満先生と知り合ったのは、昭和38年4月日本私学教育連盟時代の頃からです。ある会場でのことでした。某評論家が教育論を語った時点で、塾に関する的外れな見方、悪意に満ちた中傷、自分たちにだけ都合のよいデータを基にした塾無用論等々に対して、照満先生は姿勢を正し、独特な語り方で理路整然と反論をしたことがいまだに目に焼きついて残っています。

成美先生も在りし日の塾団連研修大会で発表された場面で毅然とした態度で語られたことが、まるで照満先生と二重になって見ているようでした。

また、スポーツ好きで、よくテニスをしていましたね。スポーツを通して保護者とのコミュニケーション、塾生に対する情熱は塾人としての模範でありました。

中村成美先生！思いは尽きません。残念です。
中村成美先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

合掌

平成十七年十月十三日

私塾ネットセンター理事長 谷村志厚

私塾ネット関東会員、中村学院（川崎市）代表の中村成美先生が急逝をされた。まだ59歳の還暦にも満たぬ、あまりにも若くそして突然の悲報であった。中村先生は長年にわたり塾団体活動に寄与され、晩年は私塾ネットセンター監事として会計監査をご担当いただいていた。

中村先生との出会いは、小生が旧PTF東京私塾会に入会した直後だから、20年を過ぎよう。月例定期会合の席でご紹介をいただき、たまたま早稲田の後輩ということでご記憶いただいたのが始まりであった。その後の交流のなかで一番印象深いのは、横浜を会場とした「塾団連研修大会」である。会場の手配から二次会の宴席まで、全てを取り仕切ったのは地元横浜の名コンビ、中村先生と長江勝秋先生であった。お二人は日ごろから「放課後授業」を共にする仲であられたので、みごとに港横浜の夜を演出し、遠来のお客さまを喜ばせたのであった。

最近の中村先生の思い出といえば、私塾ネットと東京工業大学附属高校との縁結びの件である。昨年同校が東工大附属科学技術高校に改組するにあたって、同校の石井校長が塾向けの広報を計画された。そこで、旧友である中村先生に相談をされた結果、私塾ネットが塾向け説明会や入試相談会のアドバイスを差し上げることになり、同校との交流が始まったのである。

今回の悲報に接し、東工大の石井校長は小生あてのメールで次のように述べておられる。

中村学院の中村氏急逝の報は、あまりにもつらい出来事でした。昨年、彼を通じて谷村先生にお世話をお願いして始まりました塾対象の学校説明会について2年目を済ませ、ようやく附属高校の行事として定着して参りました。まさにあの時期をお願いしていなければ、実現しなかったものと思います。心の奥深いところでも共鳴するところの多かった親友中の親友でしたので、事故の連絡から20日あまり経った今でも、残念さとむなしさに呆然としております。この日曜日にご自宅を訪問し、遺影と対面してきました。間違いなく中村君がいないのだということ、自分に言い聞かせて参りました。 - 後略 -

以上石井校長の文章を紹介させていただき、中村成美先生の遺徳をあらためて偲びたいと思う。合掌。

中村成美先生の急逝を悼む

長江 勝秋

9月23日の昼過ぎ、中村さんの奥さんから突然の電話。

「今朝亡くなりました。原因は事故です。」何のことが解らず混乱して正気に戻るのにしばらくかかった。

「え - 。勘弁してくださいよ - 。」泣き声になって後は何を話したのか覚えていない。

中村さんとは30年前、神奈川私塾会の会合で出会い、同じ高校の出身と言うこともあって、意気投合。お互いに連絡をしい、時間を作っては酒を酌み交わし、読んだ本、音楽や絵画や陶芸、美味しい食べ物やお酒、旅行などの話題で、終電の時間を忘れて語り合い、午前2時3時にタクシーで帰ったことも数知れず。

新宿の中村屋のインドカレー - をビールとワインでいただき、末広亭で落語を聞き、東横線沿線で呑む。と言うのがお定まりのコースであった。また本牧ジャズ祭・横浜ジャズプロムナード・横浜球場などで過ごした思い出はつきることがない。

30代40代の頃は毎月のように会っていたのが歳とともにその回数が減って、お互い孫ができてからは会えるのは半年ごとになっていた。孫の話になると顔の筋肉がゆるみ好々爺の面目躍如。素晴らしい家族に恵まれて幸せの絶頂であったのに・・・。

早稲田大学卒業後、お父上の強い要望で学習塾中村学院を継がれ、地域ナンバ - ワンの塾として他塾の追従を許さない実績を作り、塾の社会的地位の向上のため任意団体や社団の活動にも参加。氏が会に参加しているだけで何故か癒される。そういう存在であった。

塾団連時代、横浜で総会・研修会が行われた際の実行委員長であった氏。特に懇親会の企画立案に才能を発揮。大成功に導いた功績は今でも語り草になっている。

学習塾を継がず企業の一員となったとしても、氏の博識と温厚な人格、多才な能力をもってすれば、その企業のトップに上り詰めるのは必定。

9月25日の葬儀。氏の逝去を悼み焼香を待つ友人知人・塾生・卒塾生・関係者の葬列は延々と続き、その人数は突然の訃報にもかかわらず600名を超えた。

ああ！享年59歳。中村さん。逝くのは早すぎますよ。美味しいうなぎを食べに連れて行ってくれるって。うちの近くのふぐの店に一緒に行こうって。横浜のご自宅にまた招待してくれるって。私のジャズバンドのライブに来てくれるって、約束したじゃないですか。戻ってきてー！中村さーん！

私塾ネット会員木村正史先生のご尊父木村良平様、平成17年8月10日永眠されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

8月15日(月)午後6時～7時お通夜、8月16日(火)午前10時～11時告別式、堀の内斎場にて執り行われました。

弔辞

私塾ネット渉外部長 佐藤勇治

本日ここに故木村良平先生のご葬儀並びに通夜が執り行われるにあたり、在りし日の先生の面影を偲びつつ、ご霊前に謹んで弔辞を捧げます。

先生、長い間全国私塾連盟のお仲間として、また、東京第三地区の会合では、人生の大先輩として、常に暖かくご指導頂きました佐藤勇治でございます。

連日の猛暑の中、夏期講習の前半を終え、明日から盆休みになるという十一日の午後、突然ご子息の正史(まさふみ)先生から、先生の訃報を知らされ、多少の覚悟をしておりましたが、言葉には出来ない深い悲しみに襲われました。

先生が五年前、病に倒れられ、荻窪の東海病院に入院された時、学習塾仲間の先生方と一緒に御見舞いさせて頂きました。それ以来、週三回の透析をされ、そして今年二月に再度入院されたことを正史先生から伺いました。

そして、この八月十日までの五年八ヶ月、奥様はじめ、ご家族の皆様の献身的な看護のご様子と素晴らしい家族愛を知るにつけ、ご家族の皆様のご心痛如何ばかりかとお察しいたし、残念でなりません。

先生は、昭和四十六年地域の子どもたちの教育に役立ちたいとの一念から木村総合学園を創設され、三年後の昭和四十九年に、学習塾団体としては、最も歴史のある全国私塾連盟に入会されました。



木村総合学園は設立当初より学習だけではなく、アメリカ人教師による英会話、ピアノ、オルガン、幼児リトミックなど音感教育も取り入れた総合学園

として発足し、私たち学習塾仲間では特異な存在でありました。私たちは昭和五十四年五月十一日、木村総合学園を会場として、研修会を開催し、情操教育に力を入れておられる木村総合学園の実態を見学させて頂き、大いに学ぶ所がありました。

また、先生は永年大手の企業で経理のお仕事をされておられた関係から昭和五十三年、全国私塾連盟の監事に就任されました。当時、監事は中込大二郎先生、大場功一先生、木村良平先生の三人の先生方でしたが、中込先生は葛飾区の区会議員として、大場先生は台東区の区会議員として活躍されておられましたので、定例総会では木村先生が多く所感を述べておられました。

そして先生は、昭和六十一年まで連続して九年間全国私塾連盟の監事という要職を務められ、その功績により、昭和六十年十二月の創立二十五周年記念式典において、設立以来の功労者十三名の中のお一人として表彰されておられます。

平成の時代になってからは、ご子息の正史(まさふみ)先生が、全国私塾連盟の会合にご出席するようになりました。

そのため、私たちは先生のご様子を正史先生を通して伺い、先生が、七十七歳まで現役で教鞭をとられておられたことを知りました。

今年、古希を迎えた私も先生に、勇気と目標が与えられた思いがいたしております。

平成十二年十二月、全国私塾連盟は創立四十周年記念式典を盛大に挙行し、翌年六月、同連盟を発展的に解消し、三団体が合同して、現在の「全日本私塾教育ネットワーク」、略称「私塾ネット」が、新しく発足致しました。

また、平成十一年十二月、全国の学習塾仲間呼びかけ、田中敏勝先生、西畑正夫先生、木村正史先生、加藤 実先生、山口恭弘先生、谷村志厚先生たちと一緒にNPO法人 全国教育ボランティアの会を設立し、翌、平成十二年五月、内閣府の認証を受け、子どもたちの科学実験、理科工作を柱とした「親子の集い」を全国的に展開しております。

そして、今年七月十七日の日曜日には、調布市民プラザ「あくろす」で、第四回「生きいきワクワク体験・親子の集い」を開催致しました。この会には当初、正史(まさふみ)先生が実行委員として来て下さることになっておりました。

しかし、その前日の十六日の夜、正史先生からお電話があり、「父の容態がおもわしくないので、明日、息子の洋史(ひろし)を手伝いにやります。」とお話がありました。

翌朝早く正史先生と洋史君が車で来られ、正史先生は荷物の搬入のみですぐ帰られましたが、洋史君は想像以上の大活躍をして下さいました。お蔭様で会の方も二百六十四名の参加者があり、成功裡に終了することが出来ました。

木村先生、私は今、ご子息の正史先生、そしてお孫さんの洋史(ひろし)君と親子三代に亘って、一緒に仕事をさせて頂いたことになります。木村先生の律儀さ、質実剛健さを見事なまでに受け継いでおられるお二人の姿に接し、先生は人生において有終の美を飾られたと、実感しております。

この上は、どうぞ、ご浄土にて安らかに眠り下さい。

終わりに臨み、仲間たちと共に、ご家族の皆様と末永くお付き合いさせて頂くことをお誓いし、また、衷心よりご冥福をお祈り申し上げ、弔詞とさせて頂きます。 合掌

平成十七年八月十五(享年89歳でした)

私塾ネット名誉会員落合清晃先生の奥様が平成17年7月13日(水)に永眠されました。謹んでお悔やみ申し上げます。



なお、9月23日(秋分の日)の午後、小関・谷村・安藤・立脇・佐藤・田中・野沢・加藤の奥様をよくご存知の各先生方が落合先生宅に伺い、ご霊前でご供養させていただきました。

訃報

愛媛県今治市の白石 巖先生(白石塾塾長)が10月21日急逝されました。享年63歳。お通夜、告別式は以下の通りです。

お通夜 日時 10月22日(土)午後7時~
場所 自宅(今治市片山4丁目7番34号白石塾)

TEL 0898-23-5720
告別式 日時 10月23日(日)午後0時~1時
場所 平安祭典今治北セレモニー会館(今治市近見町3丁目5番10号)

TEL 0898-25-4444

喪主 白石久美子

謹んでご冥福をお祈りいたします。

私塾ネット一同

各	部	報	告
----------	----------	----------	----------

渉外部

部長 佐藤勇治

9/18(日)

千葉学習塾協同組合
 スクールフェア2005
 ホテルサンガーデン ララポート

9/19(祝)

NPO 塾全協
 私立中高進学相談会
 新宿NSビル展示ホール

9/25(日)

東京私塾協同組合
 私立・都立中学高校受験相談会
 高田馬場BIG BOX
 西武スポーツプラザ9階

9/25(日)

社団法人
 かながわ民間教育協会
 神奈川・東京
 私立中高進学相談会(横浜会場)
 パシフィコ横浜
 アネックスホール

9/25(日)

埼玉県私塾協同組合
 18年度中高入試説明会
 大宮ソニックシティ

10/ 2(日)

社団法人
 全国学習塾協会
 塾の日フェスティバル2005
 東京ビッグサイト

10/15(土)

NPO法人
 全国教育ボランティアの会
 中嶋教授の天文教室
 長野県霧ヶ峰高原

10/20(木)

私塾協議会
 年次総会・懇親会
 パレスホテル

10/23(日)

全日本私塾教育ネットワーク
 進学情報交換会
 かんぼヘルスプラザ(池袋)

10/23(日)

社団法人
 かながわ民間教育協会
 県立高校合同説明会
 神奈川総合高等学校

10/23(日)

民間教育連盟
 郵政改革発・教育改革行き
 ホテルメトロポリタン仙台

10/30(日)

NPO法人
 全国教育ボランティアの会
 ミニプラネタリウム
 親子の集い
 愛媛県松山市

11/ 3(祝)

NPO 塾全協
 第31回 全国研修大会
 かんぼヘルスプラザ東京

11/ 6(日)

私塾協同組合連合会
 埼玉県私塾協同組合
 第16回 全国研修大会
 大宮ソニックシティ

11/ 9(水)

塾教育研究会
 基礎学力研究会
 算数・数学
 港区生涯学習センター

11/20(日)

NPO法人
 全国教育ボランティアの会
 四次魔方陣
 親子の集い
 北海道札幌市

11/27(日)

社団法人・全国学習塾協会
 関東支部研修会・忘年会
 長野県かやぶきの館

12/11(日)

全国学習塾協同組合
 国語教育研修会
 出口 汪先生)
 かんぼヘルスプラザ東京

NPO法人 全国教育ボランティアの会

(1) 10月06日(土) 調布市立富士見台小学校
「やあやあドリームオールスターズ」に参加

平成17年10月8日、調布の第3小学校「体育館」にて午前9時～正午開催。校長・副校長・親子等約170名参加。西畑正夫先生の指導による「魔方陣」作成指導、田中敏勝全国教育ボランティアの会理事長による紙ヒコーキ、スーパーライトグライダー飛行実演。司会は佐藤勇治事務局長。

(2) 10月15日(土) 長野県霧が峰高原親子の集い

平成17年10月15日(土)、松本紀行先生の「霧が峰林間学校」にて開催。午後2時から「体験学習活動支援セミナー」を実施。これは午後4時半からの「生きいきワクワク体験・親子の集い」本番に備えてのボランティア研修。牛山英彦茅野市教育委員会教育長、長野市教育委員会生涯学習課の金子哲也氏、下諏訪町商工会議所より桜井文明事務局長が参加を得ました。続いて中嶋浩一橋大学大学院教授による「天体望遠鏡」の指導が午後3時過ぎからあり、ボランティアの皆さんは熱心にその説明を聞かれました。

午後4時から「生きいきワクワク体験・親子の集い」参加者受付が始まり、子どもたち、付き添いの親がぞくぞく入室。午後4時30分田中敏勝全国教育ボランティアの会理事長の開会の辞、スーパーライトグライダーの発進でスタート。

午後5時から中嶋教授の指導により「天体望遠鏡作り」開始。小1から中2までの子どもたちは一所懸命話を聞き、黙々と作業をしていました。どの地域の子どもたちも皆「手作り」には興味を示すんですね。それに皆とても可愛い。

午後7時20分、松本紀行実行委員長の「謝辞と施設のご紹介」、佐藤勇治全国教育ボランティアの会事務局長の「閉会の辞」をもって無事終了しました。

(3) 10月30日(日) 愛媛県松山市親子の集い

平成17年10月30日午前10時30分より、「JA愛媛(農協会館)リジェール松山」7階ゴールドホールにて「体験学習活動支援セミナー」開催予定。中嶋浩一橋大学大学院教授、湯口兼司全国教育ボランティアの会四国支部長、長尾敬一NGOスタッフ、田中敏勝全国教育ボランティアの会理事長、西畑正夫全国教育ボランティアの会理事(製作指導)等出席予定。

午後2時より「生きいきワクワク体験・親子の集い」開催予定。中西貴輝文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課課長補佐、宮内健二松山市教育委員会地域学習振興課課長の出席をお願いしております。

午後2時30分より西畑正夫理事指導によるミニブ

ラネタリウム作り、中嶋浩一教授による「楽しい天文教室」を予定しております。

製作したミニプラネタリウム、スーパーライトグライダー、シャープペンシルをおみやげとしてお持ち帰りいただきます。

会計部**部長 石川 維雪**

17年度センター会費ご協力をお願い

本年も会費の徴収を行っております。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、センター会費は12,000円(年額)でございます。

エリア東北(青森県)、エリア関東、エリア中国、エリア四国

各エリアごとに、センターの会費を集めさせていただきます。

なお、同時にエリアの会費を集める場合もございます。

詳細は、エリア代表ないしはエリア会計担当者にお問い合わせください。

* エリア代表者

エリア東北 畑山篤(志学塾)

エリア関東 鈴木正之(いぶき学院)

エリア中国 北川健治(栄光プレップ)

エリア四国 湯口兼司(湯口塾)

エリア北海道、エリア東北(青森以外)、エリア中部、エリア近畿、エリア九州

センター会計部より直接会費を集めさせていただきます。

5月に17年会費についてのご案内を個別にお届けしておりますので、ご確認ください。

なお、まだご送金いただけていない方は、以下のいずれかの口座へ12,000円ほどご送金くださいますよう、お願い申し上げます。

詳細やご不明な点は、センター会計部 石川維雪(03-3483-8221:さくら記帳代行センター内)までお問い合わせください。

【郵便振替でご送金の場合】 以下の郵便口座までご送金ください。

(口座番号) 0230-6-0068820

(口座名義) 全日本私塾教育ネットワーク

【銀行振込でご送金の場合】 以下の銀行口座までご送金ください。

みずほ銀行 祖師谷(そしがや)支店

普通預金 8079372

(口座名義) 私塾ネット 会計部長 石川如雪

会員の方にご利用いただいていた「自動振替」による会費の徴収は、昨年から行っておりません。

事 務 局 便 り

閑話休題 理事長 谷村志厚

訃報相次ぐ、先達のご功績に感謝

このところ会員およびご親族の訃報が相次いでいる。8月に木村総合学園の先代塾長である木村良平先生が亡くなられた。9月23日には、佐藤先生たちに同行し、下谷の落合先生宅を訪問し、7月に亡くなられていた奥様の位牌にお線香あげさせていただいた。翌日神奈川から悲報がもたらされた。川崎の中村成美先生の急逝の一報であった。このあたりの状況については、本誌に追悼ページを編集していただいたのでご一読いただきたい。さらに10月22日、エリア四国の会員、今治市の白石巖先生の訃報が飛び込んできた。白石先生は四国ではもっとも古い旧全塾連会員のお一人である。現在の活発なエリア四国の根幹となられた方である。山口会長に私塾ネットセンターを代表し葬儀にご参列いただいた。当会のような任意の団体は、会員の歴史の上に成立している。亡くなられた先達の皆様のご功績を偲び、哀悼の意を表したいと思う。

私塾協議会定期総会に出席をして

10月20日、千代田区のパレスホテルで実施された私塾協議会の定期総会に出席をした。山口会長、鈴木関東代表、佐藤渉外部長も同行した。私塾協議会は市進、栄光といった大手塾で構成する任意団体で、現会長は名古屋名進研の豊川先生、副会長は富山育英センターの片山先生である。会席は片山先生の独

壇場で、話題の片山学園の現状が面白おかしく報告された。懇親会では参加者全員（今年は20名弱）が、3分間スピーチで近況を報告をするのが定番で気が重いのだが、大手塾の先生方の本音が垣間見えて面白い。皆さん市場新規参入競合での授業料ダンピング合戦にはへきへきのご様子、価格戦争を戒める声が相次いだ。夏期講習では内容重視講座編成で、講習費15万円といった高値の講座が予想以上に好評で、過去最高の成果だったといった首都圏某塾の報告もあった。皆さんの声を総合するに、塾受難の時代もどうやら底をうった様子だ。協議会設立以来20余年の間の、多くの会員塾の出入りが指摘され、今厳しいサバイバルを生き抜いた者が、「残存者利益」を享受すべき時がきつつあるという、豊川会長の言葉は刺激的であった。

公立学校教育・ゆとり教育をバツサリ内閣府が9月6.7日の両日、インターネットで実施した「学校制度に関するアンケート」が興味深い。小学生から高校生の子を持つ保護者3620人の調査結果だ。報告によると、学力向上で塾・予備校を支持したのは70.1%で、学校を支持するのはわずか4.3%であった。ゆとり教育についても60%以上の保護者がこれを否定し、継続すべきと回答したのは5.0%にすぎなかった。このデータは9月実施の最新情報である点、保護者に特化した調査である点で意義深いと判断できる。結果そのものは想定内のことだが、このような形で示されると、学習塾の環境も新たな局面に入ったものと実感させられる。

月度	私塾ネット主催&協賛行事案内(10月末確認分)
4	24 私塾ネット全国塾長・職員研修大会&私塾・私学・企業懇親会 B I Z新宿
5	11 エリア関東 第1回国語科勉強会 王子 北とぴあ 12 エリア中国定例会 29 エリア四国総会及び研修会 香川県啓真館「シード」
6	12 エリア関東・中部合同研修会 長野県チャレンジ学院「チャレンジ村」 20 エリア関東 第2回国語科勉強会 王子 北とぴあ
7	1 公立中高一貫6年生学校はどんな学校になるか(主催進路研) 5 全日本学習塾連絡会議 14 エリア中国定例会(福山) 12 エリア関東定例研修会&第3回国語科勉強会 山吹学習会 17 教育政策提言シンポジウム in 富山(協賛)主催民間教育連盟
9	8 全日本学習塾連絡会議 16 エリア関東定例研修会 19 私立中高進学相談会(NSビル)(協賛)主催PNO塾全協
10	2 塾の日フェスティバル(全国学習塾協会主催) 15 教育ボランティアの会(松本市) 23 エリア関東 私学情報交換会(池袋 カンポ) 30 教育ボランティアの会(松山市)
11	3 NPO塾全協研修大会(カンポ) 8 エリア関東定例研修会 13 エリア中国研修会(広島県福山) 20 教育ボランティアの会(札幌市)
12	4 塾団体合同忘年会(協賛) 13 エリア関東定例研修会 18 教育ボランティアの会(松戸市)
1	15 塾に役立つ情報展&合同新年会(新宿)(協賛) 29 エリア関東ニューイヤーパーティ
2	14 エリア関東役員会
3	14 エリア関東定例研修会

賛助会員一覧(順不同)

関東国際高等学校 03-3376-2244
 〒151-0071 東京都渋谷区本町3-2-2
 村山 ヲドラ先生
江戸川学園取手中学高等学校 0297-74-8771
 〒302-0025 茨城県取手市西1-37-1
 竹澤 賢司先生
十文字中学高等学校 03-3918-0511
 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-10-33
 卯木 幸男先生
東洋高等学校 03-3291-3824
 〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-16
 齋藤 元治先生
洗足学園大学付属第一高等学校
 03-3711-5751
 〒152-0012 東京都目黒区洗足1-15-13
 佐藤 慶一先生
桜丘中学高等学校 03-3910-6161
 〒114-8554 東京都北区滝野川1-51-12
 品田 健先生
聖徳大学附属中高等学校 047-392-8111
 〒270-2223 千葉県松戸市秋山600
 川並 芳純先生
麹町学園女子中高等学校 03-3263-3014
 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-8
 伊藤 暁先生
春日部共栄中学 048-737-7611
 〒334-0037 埼玉県春日部市上大増新田213
 宇野 禎弘先生
大成高等学校 0422-43-3196
 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀6-7-5
 森 保先生
東京学園高等学校 03-3711-6641
 〒153-0064 東京都目黒区下目黒6-12-25
 須藤 勉先生
東京立正中学高等学校 03-3312-1111
 〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内2-41-15
 藤井 教戒先生
八雲学園中学高等学校 03-3717-1196
 〒152-0023 東京都目黒区八雲 2-14-1
 横山 孝治先生
関東第一高等学校 03-3653-1541
 〒132-0031 東京都江戸川区松島2-10-11
 副田 康孝先生
武蔵野中学高等学校 03-3910-0151
 〒114-0024 東京都北区西ヶ原4-56-20
 福澤 清一郎先生
神田学園中高等学校 03-3291-2447
 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-3-6
 後藤 久夫先生
和洋国府台女子中学高等学校 047-371-1120
 〒272-0834 千葉県市川市国分4-20-1
 太田 陽太郎先生

東京文化中学高等学校 03-3381-0196
 〒164-8638 東京都中野区本町6-38-1
 上前 善勝先生
英数学館中学高等学校 084-941-4115
 〒721-8502 広島県福山市引野町980-1
 和田 淳先生
文京学院大学女子中学高等学校 03-3946-5301
 〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3
 大久保 幸夫先生
京北学園 03-3941-6253
 〒112-8607 東京都文京区白山5-28-25
 実方 隆志先生
大森学園高等学校 03-3762-7336
 〒143-0015 東京都大田区大森3-2-12
 河嶋 正先生
東京成徳大学中学高等学校 03-3911-2786
 〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9
 増澤 文徳先生
日本工業大学附属中学 03-3467-2130
日本工業大学附属東京工業高等学校
 〒153-8508 東京都目黒区駒場1-35-32
 川村 文夫先生
青稜中学高等学校 03-3782-1502
 〒142-8550 東京都品川区二葉1-6-6
 多々良 昭典先生
株式会社パイロットコーポレーション
 03-3538-3782
 〒104-8304 東京都中央区京橋2-6-21
 辻 豊様
株式会社教育企画ティーファイブ
 03-5479-7061
 〒140-0001 東京都品川区北品川1-22-17
 ニックハイム104号
 山田 孝幸様
株式会社創開コミュニティ 04-7164-6511
 〒277-0005 千葉県柏市柏3-4-25 小溝ビル
 小林 和光様

全日本私塾教育ネットワーク

本部事務局
 〒173-0005 東京都板橋区仲宿53-10
 ナカジユク内
 TEL 03-3963-5572 FAX 03-3963-2529
 Mail Address: jimukyoku@shijuku.net

理事長 谷村 志厚
 〒270-2231 千葉県松戸市稔台63-21
 A I M学習セミナー内
 TEL 047-368-2729 FAX 047-368-2189

私塾ネット広報編集委員会
 〒120-0032 東京都足立区千住柳町14-12
 青雲塾内